

# 若い世代へ広報誌の訴求力を高めるには

地域：塩谷町

パートナー：塩谷町役場 企画調整課  
黒田明典

26班 コミュニティデザイン学科  
建築都市デザイン学科  
社会基盤デザイン学科



河原沙知  
内田満里奈  
辻拓海

吉田真唯  
吉永雄稀  
屋敷拓海

## 背景

### <若者の流出>

- ・人口減少が進んでおり、特に若者の流出が目立つ
- ・塩谷町に少しでも興味を持ってほしい

### <広報誌のマンネリ化>

- ・毎月同じような内容
- ・若者にも読んでもらえるような記事にしたい

## 目的

若者にも触れやすい話題を共有したい

- ・身近な話題で分かりやすい内容
- ・レイアウトも見やすいものへ
- ・町民の方の協力により「共に」つくる

## 調査の方法

- ①現地に行き、塩谷町の広報誌に掲載するネタを調査する。  
→塩谷町の魅力的なスポット、イベントはほとんど前に記事で取り上げたことがあったため、これによって塩谷町の魅力を掲載するのではなく、若者が興味を惹かれるような内容の記事の作成に変更
- ②どのような記事が読みたいかのアンケートを作成。
- ③地域パートナーさんご協力のもと、町民の方にアンケートに答えていただく。
- ④そのアンケート結果をもとに記事を作成する。

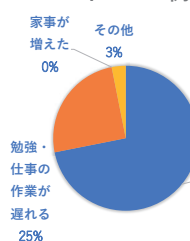
## 分析結果

アンケートを行った結果、コロナの影響でストレスを感じていると回答した人数が全体の87%と非常に多く、そのストレスの例としては遠出ができないからという回答がかなり多かったことがグラフよりわかる。(72%)  
また、コロナ収束後にやりたいことについての設問では「旅行」と回答した方が全体の70%であった。さらに、広報誌になにを期待するかという設問には、グルメについて取り上げて欲しいという声を複数頂いた。  
これらの結果より、私たちは広報誌で「観光」に関する記事を作成することに決定した。

### ストレスを感じて

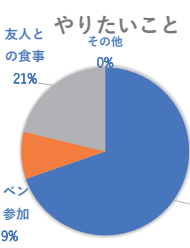


### ストレスの例



### アンケート調査結果 (32人)

#### コロナ収束後に



## 提案

- ・記事の内容を実用的なものにする  
→具体的には旅先やコロナ禍での生活など
- ・視覚的な見やすさを重視  
→写真をたくさん使う、文字を大きくする、行間や空白を作る
- ・「役場→町民」という一方通行の情報伝達だけでなく、「町民→役場」の情報伝達・交流ができるように  
→簡易的なアンケートを紙面に掲載

○12月号で実施したアンケート結果をもとにさらに提案・町民の声

Q.広報誌に取り上げてほしい内容や企画があれば教えてください

A.今回のように、町民以外の参加と編集  
→意外と、町民以外の紙面作成への参画は需要がありそう

A.塩谷町での具体的なコロナ対策の記事があれば安心して生活できる

→やはりコロナに関するテーマは関心が高そうなので継続して載せるのが良さそう

Q.広報誌に関するご意見や感想があればお聞かせください

A.中のページもカラーに。  
→表紙だけでなく写真や文字もカラーにして視覚的に良いレイアウトづくりが必要



写真 塩谷町東古屋キャンプ場



実際に私たちが作成した広報誌 \*一部訂正



広報しおや12月号

2. 3ページ 表紙

### コロナ禍と塩谷町

塩谷町デザイン学科 建築都市デザイン学科 社会基盤デザイン学科

活動の紹介  
私たちは、地域パートナーの塩谷町役場企画調整課と一緒に、広報誌で、今年度3月号よりコミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の学生から構成される運営グループで、地域の課題と身近な話題を共有する「広報誌」の企画・制作・編集を共同で実施しております。

活動の目的  
私たちは、地域パートナーの塩谷町役場企画調整課と一緒に、広報誌で、今年度3月号よりコミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の学生から構成される運営グループで、地域の課題と身近な話題を共有する「広報誌」の企画・制作・編集を共同で実施しております。

私たちの記事について  
今年度は、今年度3月号から12月号まで、毎月1回、広報誌に掲載いたします。その結果をもとに、広報誌の企画・制作・編集を共同で実施しております。ご意見や感想をいただければ幸いです。

アンケートの結果  
「旅行」が70%と最も多く、次に「友人との食事」が21%、「イベント参加」が9%、「ストレス解消法」が7%、「ウォーキング」が7%、「ゲーム」が7%と続きます。

順位	記事内容	割合
1位	旅行	70%
2位	友人との食事	21%
3位	イベント参加	9%
4位	ストレス解消法	7%
5位	ウォーキング	7%
6位	ゲーム	7%

### 私たちがおすすめする旅行先

「旅行」が70%と最も多く、次に「友人との食事」が21%、「イベント参加」が9%、「ストレス解消法」が7%、「ウォーキング」が7%、「ゲーム」が7%と続きます。

「旅行」が70%と最も多く、次に「友人との食事」が21%、「イベント参加」が9%、「ストレス解消法」が7%、「ウォーキング」が7%、「ゲーム」が7%と続きます。

「旅行」が70%と最も多く、次に「友人との食事」が21%、「イベント参加」が9%、「ストレス解消法」が7%、「ウォーキング」が7%、「ゲーム」が7%と続きます。